

第 47 回 定時社員総会

日 時 令 和 7 年 6 月 25 日
 1 5 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0
場 所 砂防会館別館 立山会議室



一般社団法人 斜面防災対策技術協会

第47回 定時社員総会次第

日 時 令和7年6月25日（水）

15：30～16：30（予定）

場 所 砂防会館別館 立山会議室

開 会

1. 挨拶

2. 議 事

第1号議案 令和6年度収支決算承認の件

第2号議案 役員選任の件

（報告事項）

第1号報告 令和6年度事業報告の件

第2号報告 令和7年度事業計画報告の件

第3号報告 令和7年度収支予算報告の件

閉 会

目 次

第 1 号議案	令和 6 年度収支決算承認の件	1
(1)	貸借対照表	2
(2)	正味財産増減計算書	4
(3)	財産目録	7
	監査報告書	9
第 2 号議案	役員選任の件	11
(報告事項)		
第 1 号報告	令和 6 年度事業報告の件	13
第 2 号報告	令和 7 年度事業計画報告の件	21
第 3 号報告	令和 7 年度収支予算報告の件	27

第 1 号議案 令和 6 年度収支決算承認の件

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	本部	支部	合計	備 考
I 資産の部				
1 流動資産				
現金・預金	2,125,906	36,759,966	38,885,872	預金は普通預金
前払金	0	0	0	
未収金	79,190	190,000	269,190	
商品	5,387,706	0	5,387,706	棚卸高
立替金	0	6,200	6,200	
流動資産合計	7,592,802	36,956,166	44,548,968	
2 固定資産		0		
(1) 特定資産				
①登録試験事業積立資産	0	0	0	
②技術フォーラム事業積立資産	0	0	0	
③出版事業積立資産	0	0	0	
④職員退職積立金	0	1,654,541	1,654,541	
⑤運営資金積立金	0	12,300,052	12,300,052	事業積立以外の定期預金等
特定資産合計	0	13,954,593	13,954,593	
(2) その他固定資産				
什器備品	1	0	1	
電話加入権	6,000	0	6,000	
敷金	1,358,280	240,000	1,598,280	
その他固定資産合計	1,364,281	240,000	1,604,281	
固定資産合計	1,364,281	14,194,593	15,558,874	
資産合計	8,957,083	51,150,759	60,107,842	
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	3,527,069	147,400	3,674,469	
前受金	23,400	0	23,400	
預り金	286,783	0	286,783	
流動負債合計	3,837,252	147,400	3,984,652	
2 固定負債				
退職給与引当金	0	1,654,541	1,654,541	
固定負債合計	0	1,654,541	1,654,541	
負債合計	3,837,252	1,801,941	5,639,193	
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	
2 一般正味財産				
一般正味財産合計	5,119,831	49,348,818	54,468,649	
(うち基本財産への充当額)	()	()	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(13,954,593)	(13,954,593)	
正味財産合計	5,119,831	49,348,818	54,468,649	
負債及び正味財産合計	8,957,083	51,150,759	60,107,842	

貸借対照表（本部、支部を合計した値と前年度との比較）
令和7年3月31日現在

（単位：円）

科 目	令和6年度	令和5年度	増減	備 考
I 資産の部				
1 流動資産				
現金・預金	38,885,872	52,362,411	△ 13,476,539	預金は普通預金
前払金	0	0	0	
未収金	269,190	21,920	247,270	
商品	5,387,706	5,955,194	△ 567,488	棚卸高
立替金	6,200	0	6,200	
流動資産合計	44,548,968	58,339,525	△ 13,790,557	
2 固定資産				
(1) 特定資産				
①登録試験事業積立資産	0	0	0	
②技術フォーラム事業積立資産	0	0	0	
③出版事業積立資産	0	0	0	
④職員退職積立金	1,654,541	1,354,514	300,027	
⑤運営資金積立金	12,300,052	12,295,904	4,148	事業積立以外の定期預金等
特定資産合計	13,954,593	13,650,418	304,175	
(2) その他固定資産			0	
什器備品	1	1	0	
電話加入権	6,000	6,000	0	
敷金	1,598,280	2,708,360	△ 1,110,080	
その他固定資産合計	1,604,281	2,714,361	△ 1,110,080	
固定資産合計	15,558,874	16,364,779	△ 805,905	
資産合計	60,107,842	74,704,304	△ 14,596,462	
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	3,674,469	340,052	3,334,417	
前受金	23,400	20,400	3,000	
預り金	286,783	2,049,703	△ 1,762,920	
流動負債合計	3,984,652	2,410,155	1,574,497	
2 固定負債				
退職給与引当金	1,654,541	1,354,514	300,027	
固定負債合計	1,654,541	1,354,514	300,027	
負債合計	5,639,193	3,764,669	1,874,524	
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	△ 1,110,080	
2 一般正味財産				
一般正味財産合計	54,468,649	70,939,635	△ 16,470,986	
（うち基本財産への充当額）		0	0	
（うち特定資産への充当額）		0	0	
正味財産合計	54,468,649	70,939,635	△ 17,581,066	
負債及び正味財産合計	60,107,842	74,704,304	△ 12,721,938	

正味財産増減計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本部	支部	合計	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 入会金収益	(0)	(10,000)	(10,000)	
本部入会金	0		0	本部正会員の入会金
支部入会金		10,000	10,000	支部正会員の入会金
② 会費収益	(32,040,000)	(32,715,000)	(64,755,000)	
正会員会費	29,540,000		29,540,000	本部正会員の年会費
賛助会員会費	2,500,000		2,500,000	本部賛助会員の年会費
支部基本会費		14,565,000	14,565,000	支部会員の基本年会費(一律徴収)
支部規模別等会費		17,270,000	17,270,000	規模別会費を別途徴収している場合の年会費
特別会費		880,000	880,000	
③ 事業収益	(22,616,340)	(6,011,761)	(28,628,101)	
印刷物頒布収益	3,519,840	0	3,519,840	会誌やその他印刷物の頒布収入、会誌広告収入
試験等事業収益	16,873,500	161,836	17,035,336	試験、講習会、研修会の受講費用等
技術フォーラム参加収益	1,923,000	1,100,000	3,023,000	技術フォーラム講演集、意見交換会参加費用
研修会等収益	0	197,165	197,165	
業務受託収益	300,000	4,552,760	4,852,760	事務受託等、受託業務の収入
④ 雑収益	(658,730)	(2,450,837)	(3,109,567)	
受取利息	7,876	26,286	34,162	預金等の受取利息
支部活動費(本部から)		1,621,500	1,621,500	
広告収益	0	167,000	167,000	
その他収益	650,854	636,051	1,286,905	総会参加費、関東支部事務所費等、支部助成金
経常収益計	55,315,070	41,187,598	96,502,668	
(2) 経常費用				
① 事業費	(44,879,065)	(16,448,194)	(60,759,771)	
期首商品棚卸高	5,955,194		5,955,194	
期末商品棚卸高	△ 5,387,706		△ 5,387,706	
技術開発研究費	702,130	6,483,483	7,185,613	技術関係委員会の会議や研修等の費用
職員給与	0	0	0	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	法定福利費等
旅費交通費	557,633	5,483,754	6,041,387	
通信運搬費	0	0	0	
消耗品費	29,970	0	29,970	
印刷製本費	0	71,478	71,478	
会場借上等費	0	715,691	715,691	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	0	173,000	173,000	
雑費	114,527	39,560	154,087	銀行金種別手数料等
試験等事業費	15,722,450	137,850	15,860,300	試験、講習会、研修会費用
職員給与	7,121,365	0	7,121,365	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	1,080,948	0	1,080,948	法定福利費等
旅費交通費	899,564	10,000	909,564	支部試験・講習会経費、試験委員会
通信運搬費	1,483,666	1,081	1,484,747	
消耗品費	62,659	0	62,659	
印刷製本費	2,737,420	0	2,737,420	
会場借上等費	1,204,779	75,793	1,280,572	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	1,070,000	44,895	1,114,895	
雑費	62,049	6,081	68,130	振込手数料、駐車場代等
人材育成事業費	10,131,794	5,529,249	15,661,043	
職員給与	1,822,140	0	1,822,140	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	205,476	0	205,476	
旅費交通費	1,580,540	1,408,188	2,988,728	
通信運搬費	25,790	28,173	53,963	
消耗品費	23,452	15,392	38,844	
印刷製本費	1,290,828	846,005	2,136,833	
会場借上等費	4,958,010	2,518,846	7,476,856	
諸謝金	70,000	374,200	444,200	
雑費	155,558	338,445	494,003	
出版事業費	10,319,503	543,857	10,863,360	会誌や出版物に係る費用
職員給与	1,335,000	0	1,335,000	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	154,416	0	154,416	法定福利費等
旅費交通費	919,200	0	919,200	編集委員会、合同編集委員会座談会
通信運搬費	578,918	627	579,545	
消耗品費	0	0	0	
印刷製本費	6,233,260	483,230	6,716,490	
印刷物購入費	0	12,000	12,000	協会出版物の購入費用等
会場借上等費	237,935	0	237,935	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	615,800	48,000	663,800	会誌原稿料、図書カード
雑費	244,974	0	244,974	振込手数料等

科 目	本部	支部	合計	備考
広報活動費	1,063,688	2,098,555	3,162,243	ホームページ制作、会誌等の配布、陳情等に係る費用
職員給与	0	0	0	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	法定福利費等
旅費交通費	899,940	1,480,093	2,380,033	企画委員会、HP委員会
通信運搬費	0	218,780	218,780	
消耗品費	0	16,280	16,280	
印刷製本費	0	379,742	379,742	
会場借上費	156,408	0	156,408	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	0	0	0	
雑費	7,340	3,660	11,000	振込手数料
賃借料	3,124,347	0	3,124,347	事務所賃借料、コピー機、PC等のリース料を管理費と按分計上
その他の活動費	0	0	0	ホームページ制作、会誌等の配布、陳情等に係る費用
職員給与	0	0	0	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	法定福利費等
旅費交通費	0	0	0	企画委員会、HP委員会
通信運搬費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
会場借上費	0	0	0	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	0	0	0	
雑費	0	0	0	振込手数料
広告宣伝費	369,000	656,200	1,025,200	日刊建設工業新聞、日刊建設通信新聞等への広告料
協賛金	1,060,000	399,000	1,459,000	協賛金、負担金、会費等
助成金	1,818,665	600,000	2,418,665	支部助成金、入会奨励金、フォーラム助成金、地すべり防止工事士会 等
②管理費	(21,245,190)	(30,401,205)	(51,646,395)	
職員給与	4,610,305	7,263,000	11,873,305	
臨時雇用賃金	0	0	0	アルバイト料
役員退任慰労金	0	40,000	40,000	
退職給付費用	0	300,027	300,027	
福利厚生費	906,285	1,096,214	2,002,499	社会保険料等の法定福利費、職員の医療・健康費用等
委託費	3,326,419	5,160,000	8,486,419	事務(会計等)委託、清掃委託等の費用
会議費	1,850,602	5,931,110	7,781,712	理事会・総会・その他会議に係る会場費、飲食費
旅費交通費	827,540	2,582,704	3,410,244	職員の通勤費を含む
通信運搬費	313,554	1,226,969	1,540,523	電話、郵便、インターネット、宅配便等
消耗品費	390,136	740,810	1,130,946	事務用品費、新聞購読料等
消耗什器備品費	0	9,411	9,411	金額が10万円未満の事務用什器等
保守費(IT関係)	528,000	0	528,000	年間又は月次に定期的に支払っているIT関係の保守等の費用
印刷製本費	582,681	799,189	1,381,870	挨拶状や年賀状等の印刷費
水道光熱費	210,677	0	210,677	水道、電気、ガス
諸謝金	0	600,000	600,000	
賃借料	3,124,348	3,501,021	6,625,369	事務所賃借料、コピー機、PC等のリース料を事業費と按分計上
租税公課	1,578,660	81,000	1,659,660	印紙代等
諸会費	90,500	477,482	567,982	事業と関連のない会費(町内会費や法人会等)
渉外慶弔費	200,000	93,188	293,188	
雑費	2,705,483	499,080	3,204,563	振込手数料等
経常費用計	66,124,255	46,849,399	112,973,654	
当期経常増減額	△ 10,809,185	△ 5,661,801	△ 16,470,986	
経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
前期損益修正損	0	0	0	
電話加入権評価損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 10,809,185	△ 5,661,801	△ 16,470,986	
一般正味財産期首残高	15,929,016	55,010,619	70,939,635	繰越金+積立金+その他固定資産-固定負債
一般正味財産期末残高	5,119,831	49,348,818	54,468,649	
II 正味財産期末残高	5,119,831	49,348,818	54,468,649	

正味財産増減計算書(本部、支部を合計した値の前年度との比較)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 入会金収益	(10,000)	(1,010,000)	(△ 1,000,000)
② 会費収益	(64,755,000)	(67,743,500)	(△ 2,988,500)
③ 事業収益	(28,628,101)	(31,303,062)	(△ 2,674,961)
印刷物頒布収益	3,519,840	3,653,660	△ 133,820
試験等事業収益	17,035,336	18,744,787	△ 1,709,451
技術フォーラム参加収益	3,023,000	2,822,000	201,000
研修会等収益	197,165	213,015	△ 15,850
業務受託収益	4,852,760	5,869,600	△ 1,016,840
④ 雑収益	(3,109,567)	(3,237,936)	(△ 128,369)
経常収益計	96,502,668	103,294,498	△ 6,791,830
(2) 経常費用			
① 事業費	(61,327,259)	(57,339,998)	(3,987,261)
期首商品棚卸高	5,955,194	2,207,831	3,747,363
期末商品棚卸高	△ 5,387,706	△ 5,955,194	567,488
技術開発研究費	7,185,613	6,210,392	975,221
試験等事業費	15,860,300	14,956,941	903,359
人材育成事業費	12,552,749	9,478,840	3,073,909
研修会等事業費	3,108,294	3,782,372	△ 674,078
出版事業費	10,863,360	14,597,819	△ 3,734,459
広報活動費	3,162,243	3,507,516	△ 345,273
その他の活動費	0	200,000	△ 200,000
賃借料	3,124,347	2,622,826	501,521
広告宣伝費	1,025,200	1,248,390	△ 223,190
協賛金	1,459,000	1,489,000	△ 30,000
助成金	2,418,665	2,993,265	△ 574,600
② 管理費	(51,646,395)	(47,117,953)	(4,528,442)
職員給与	11,873,305	11,646,965	226,340
臨時雇用賃金	0	0	0
役員退任慰労金	40,000	40,000	0
退職給付費用	300,027	300,021	6
福利厚生費	2,002,499	1,824,001	178,498
委託費	8,486,419	6,247,180	2,239,239
会議費	7,781,712	7,541,139	240,573
旅費交通費	3,410,244	2,996,982	413,262
通信運搬費	1,540,523	1,318,059	222,464
消耗品費	1,130,946	961,507	169,439
消耗什器備品費	9,411	14,800	△ 5,389
保守費(IT関係)	528,000	1,267,977	△ 739,977
印刷製本費	1,381,870	698,421	683,449
水道光熱費	210,677	402,830	△ 192,153
諸謝金	600,000	600,000	0
賃借料	6,625,369	5,989,443	635,926
租税公課	1,659,660	2,106,232	△ 446,572
諸会費	567,982	640,250	△ 72,268
渉外慶弔費	293,188	1,135,045	△ 841,857
雑費	3,204,563	1,387,101	1,817,462
経常費用計	112,973,654	104,457,951	8,515,703
当期経常増減額	△ 16,470,986	△ 1,163,453	△ 15,307,533
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
前期損益修正損	0	0	0
電話加入権評価損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 16,470,986	△ 1,163,453	△ 15,307,533
一般正味財産期首残高	70,939,635	72,103,088	△ 1,163,453
一般正味財産期末残高	54,468,649	70,939,635	△ 16,470,986
II 正味財産期末残高	54,468,649	70,939,635	△ 16,470,986

財 産 目 録

令和7年3月31日

(単位/円)

科 目	本部			支部計			合計		
I 資産の部									
1 流動資産									
現金預金									
現金	409,081			450,434			859,515		
郵便振替口座									
東京貯金事務センター	61,374			0			61,374		
普通預金									
みずほ銀行新橋支店(本部)	1,652,036			0			1,652,036		
三井住友銀行日比谷通支店(本部)	3,415			0			3,415		
北洋銀行南口支店(北海道)				3,780,906			3,780,906		
七十七銀行仙台東口支店(東北)				2,881,160			2,881,160		
第四北越銀行白山支店(新潟)				5,416,425			5,416,425		
富山銀行諏訪川原支店(富山)				2,212,180			2,212,180		
北國銀行 大徳支店(石川)				1,107,764			1,107,764		
八十二銀行風間支店(長野)				2,497,135			2,497,135		
静岡信用金庫城北支店(静岡)				1,195,551			1,195,551		
三菱UFJ銀行新橋支店(東海)				1,732,465			1,732,465		
三菱UFJ銀行新橋支店(関西)				2,866,225			2,866,225		
中国銀行県庁支店(中国)				3,629,485			3,629,485		
百十四銀行東支店(四国)				723,475			723,475		
福岡銀行博多駅東支店(九州)				3,586,577			3,586,577		
三菱UFJ銀行新橋支店(関東)				4,680,184			4,680,184		
定期預金									
三菱東京UFJ銀行新橋支店	0			0			0		
前払金	0			0			0		
未収金	79,190			190,000			269,190		
商品	5,387,706			0			5,387,706		
立替金	0			6,200			6,200		
流動資産合計		7,592,802			36,956,166			44,548,968	
2 固定資産									
(1) 特定資産									
登録試験事業積立資産									
定期預金									
三井住友銀行日比谷通支店	0			0			0		
技術フォーラム事業積立資産									
定期預金									
三井住友銀行日比谷通支店	0			0			0		
出版事業積立資産									
定期預金									
三井住友銀行日比谷通支店	0			0			0		
職員退職給与積立金									
富山銀行諏訪川原支店(定期預金)				1,654,541			1,654,541		
運営資金積立金									
普通預金									
富山銀行諏訪川原支店				262,842			262,842		
四国銀行 高松支店				0			0		
定期預金									
第四銀行白山支店				0			0		
富山銀行諏訪川原支店				12,037,210			12,037,210		
特定資産合計	0			13,954,593			13,954,593		
(2) その他の固定資産									
什器備品	1			0			1		
電話加入権	6,000			0			6,000		
敷金	1,358,280			240,000			1,598,280		
その他の固定資産合計	1,364,281			240,000			1,604,281		
固定資産合計		1,364,281			14,194,593			15,558,874	
資産合計			8,957,083			51,150,759			60,107,842
II 負債の部									
1 流動負債									
未払金	3,527,069			147,400			3,674,469		
前受金	23,400			0			23,400		
預り金	286,783			0			286,783		
流動負債合計		3,837,252			147,400			3,984,652	
2 固定負債									
退職給与引当金	0			1,654,541			1,654,541		
固定負債合計		0			1,654,541			1,654,541	
負債合計			3,837,252			1,801,941			5,639,193
正味財産			5,119,831			49,348,818			54,468,649

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

平成25年度より「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正)を採用している。

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(2)固定資産の減価償却の方法

什器備品については、定額法を採用している。

(3)引当金の計上基準

事業年度末日における退職給付見込み額を簡便法に基づき計上している。

(4)消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
登録試験事業積立資産	0	0	0	0
技術フォーラム事業積立資産	0	0	0	0
出版事業積立資産	0	0	0	0
職員退職積立金	1,354,514	300,027	0	1,654,541
運営資金積立金	12,295,904	4,148	0	12,300,052
小 計	13,650,418	304,175	0	13,954,593
合 計	13,650,418	304,175	0	13,954,593

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
小 計	0	(0)	(0)	(0)
特定資産				
登録試験事業積立資産	0	(0)	(0)	(0)
技術フォーラム事業積立資産	0	(0)	(0)	(0)
出版事業積立資産	0	(0)	(0)	(0)
職員退職積立金	1,654,541	(0)	(1,654,541)	(0)
運営資金積立金	12,300,052	(0)	(12,300,052)	(0)
小 計	13,954,593	(0)	(13,954,593)	(0)
合 計	13,954,593	(0)	(13,954,593)	(0)

令和7年5月22日

一般社団法人斜面防災対策技術協会
会長 若林直樹 殿

一般社団法人斜面防災対策技術協会

監事 宮崎忠昌 

監事 石川芽治 

監査報告書

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、書類等を閲覧し、当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

第 2 号議案 役員選任の件

役員改選（案）

現 在			改 選 案		
氏 名	所 属		氏 名	所 属	備考
理事 若林 直樹	(株) 日さく 代表取締役社長		理事 若林 直樹	(株) 日さく 代表取締役社長	重任
理事 南 哲行	(一財) 砂防・地すべり技術センター 相談役・顧問		理事 南 哲行	(一財) 砂防・地すべり技術センター 相談役・顧問	重任
理事 相川 裕司	国土防災技術 (株) 代表取締役会長		理事 相川 裕司	国土防災技術 (株) 代表取締役会長	重任
			理事 岡田 芳一	総合地質コンサルtant (株) 取締役測量設計部長	重任
理事 杉浦 信男	(一社) 斜面防災対策技術協会		理事 杉浦 信男	(一社) 斜面防災対策技術協会	重任
理事 小野由紀光	国土防災技術北海道 (株) 相談役		理事 小沼 忠久	国土防災技術北海道 (株) 代表取締役社長	新任
理事 奥山 信吾	奥山ボーリング (株) 代表取締役社長		理事 奥山 信吾	奥山ボーリング (株) 代表取締役社長	重任
理事 滝澤 俊康	ライト工業 (株) 技術営業本部斜面防災技術部長		理事 滝澤 俊康	ライト工業 (株) 技術営業本部斜面防災技術部長	重任
理事 高橋 猛	(株) 興和 相談役		理事 金子 法泰	(株) 興和 執行役員 副社長	新任
理事 田中洋一郎	ダイチ (株) 代表取締役		理事 田中洋一郎	ダイチ (株) 代表取締役	重任
理事 矢野 好二	能登建設 (株) 代表取締役社長		理事 尾蔵 文房	(株) ホクコク地水代表取締役社長	新任
理事 岡田 芳一	総合地質コンサルtant (株) 取締役測量設計部長				
理事 土屋 靖司	(株) 富士和 代表取締役社長		理事 土屋 靖司	(株) 富士和 代表取締役社長	重任
理事 栗野 靖浩	イビデングリーンテック (株) 法面事業本部副本部長兼中部支店長		理事 栗野 靖浩	イビデングリーンテック (株) 法面事業本部副本部長兼中部支店長	重任
理事 谷垣 和伸	(株) タニガキ建工 代表取締役社長		理事 谷垣 和伸	(株) タニガキ建工 代表取締役社長	重任
理事 岩本 方克	(株) エイト日本技術開発 常務取締役地域統括 (兼) 海外事業統括		理事 宮本 克己	(株) エイト日本技術開発 取締役常務執行役員事業推進本部長	新任
理事 山本 和彦	(株) ナイバ 代表取締役		理事 山本 和彦	(株) ナイバ 代表取締役	重任
			理事 古賀 俊行	(株) カミナガ 代表取締役社長	新任
理事 藤原 民章	日本工営 (株) 国土保全事業部事業部長		理事 藤元 亮	日本工営 (株) 国土保全事業部シニアスペシャリスト	新任
理事 進藤 武	明治コンサルtant (株) 管理本部副本部長		理事 井上 淳平	明治コンサルtant (株) 専務取締役	新任
理事 綱木 亮介	(一財) 砂防・地すべり技術センター 総括技師		理事 綱木 亮介	(一財) 砂防・地すべり技術センター 総括技師	重任
			理事 鍵原 和幸	日本基礎技術 (株) 執行役員 技術本部長	新任
監事 石川 芳治	東京農工大学 名誉教授		監事 石川 芳治	東京農工大学 名誉教授	重任
監事 宮崎 忠昌	日本基礎技術 (株) 東北支店技術部部長		監事 江口 喜彦	日本サーペイ (株) 取締役 業務本部長	新任

(報告事項)

第1号報告 令和6年度事業報告の件

令和 6 年度事業報告

登録地すべり防止工事試験、地すべり防止工事士技術講習会（更新講習）、斜面防災対策技術フォーラムを予定通り開催すると共に、斜面防災対策技術の開発、普及、啓発事業等とりわけ支部活動への支援体制を強化するため、本部の委員会体制を抜本的に見直し、協会活動を積極的に行った。特に、斜面防災工事に携わる技能者のスキルアップとして登録基幹技能者の育成のため講習会の準備を進めるとともに新たに斜面防災主任技能者資格を創設した。

会員数については、年度内に正会員 2 社の退会の申し入れがあり、引き続き協会活動を通じて会員のメリットを明確にして魅力ある協会にしていく必要がある。

1. 総会及び理事会関係

(1) 総会

定時社員総会（第 46 回）

令和 6 年 6 月 25 日（火） 於：砂防会館別館会議室「立山」

【審議事項】

- ①令和 5 年度収支決算承認の件
- ②定款の一部変更の件
- ③役員選任の件

【報告事項】

- ①令和 5 年度事業報告について
- ②令和 6 年度事業計画報告について
- ③令和 6 年度収支予算報告について

(2) 理事会

第 1 回理事会

令和 6 年 6 月 10 日（月）

於：砂防会館別館会議室「立山」及びオンライン会議

【審議事項】

- ① 令和 5 年度事業報告承認の件
- ② 令和 5 年度収支決算（案）承認の件
- ③ 令和 6 年度事業計画変更の件
- ④ 令和 6 年度収支予算変更の件
- ⑤ 定款変更案の件
- ⑥ 役員人事（案）の件
- ⑦ 令和 6 年度定時社員総会招集の件
- ⑧ 令和 7 年度斜面防災対策技術フォーラム開催地の件

第 2 回理事会

令和 6 年 10 月 30 日（水）

於：唐津シーサイドホテル 2 階会議室「アカシア」及びオンライン会議

【審議事項】

- ①地すべり防止工事士の国土交通省技術者資格への更新申請の件
- ②インタープリメント 2026 in 札幌の協賛の件

③建設産業の推進に関する者の推薦の件

第3回理事会

令和6年12月13日（金）（書面決議）

【審議事項】

- ①斜面防災技能士制度の創設の件
- ③斜面防災技能士試験実施規程の制定の件
- ④斜面防災技能士資格登録規程の制定の件

第4回理事会

令和7年3月7日（金）（書面決議）

【審議事項】

- ①斜面防災技能士資格の名称変更の件
- ③斜面防災主任技能者試験実施規程の制定の件
- ④斜面防災主任技能者資格登録規程の制定の件

第5回理事会

令和7年3月25日（火）

於：砂防会館別館会議室「立山」及びオンライン会議

【審議事項】

- ①役員選定の件
- ②正会員入会承認の件
- ③登録基幹技能者講習の実施に関する事務について、国土交通大臣の登録を受けるための申請を行う件
- ④令和7年度事業計画承認の件
- ⑤令和7年度収支予算承認の件
- ⑥令和8年度斜面防災対策技術フォーラム開催地の件

(3) 会員数（令和7年3月31日現在）

年度末に正会員2社から退会の申し入れがあった。

- ・正会員数 217 会員（令和5年度末 219 会員）
（退会申し入れ会社2社：土木地質（株）（東北支部）、高橋組（新潟支部））
- ・賛助会員数 25 会員（令和5年度末 25 会員）

2. 試験関係

(1) 登録地すべり防止工事試験

一次試験（筆記）

令和6年6月15日（土）に仙台、東京、新潟、富山、長野、静岡、名古屋、神戸、岡山、高松、福岡の12都市で実施した。

実受験者 145 名 合格者 39 名（合格率 26.9%）

二次試験（面接）

令和6年9月14日（土）福岡、9月21日（土）神戸、9月28日（土）東京で実施した。

実受験者 43名 合格者 38名（合格率88.4%）最終合格率25.5%

(2) 地すべり防止工事士技術講習会（更新講習）

平成30年度登録者及び令和3年度・4年度未受講者を対象として、以下の内容でオンデマンド方式により実施した。

①必須講座 1講座

「斜面对策工の点検・詳細調査から改修の計画・設計・施工計画の要点」

地すべり維持管理マニュアル編集出版委員会委員長 榎田充哉氏

②選択講座 3講座

「急傾斜地崩壊対策に関する基礎知識」

国土技術政策総合研究所土砂災害研究部土砂災害研究室長 瀧口茂隆氏

「地すべり対策における BIM/CIM の活用」

（国研）土木研究所土砂管理研究グループ上席研究員 杉本宏之氏

「地震と土砂災害」

政策研究大学院大学教授 小山内信智氏

選択講座は上記のうち1講座以上受講する。

必須講座終了後に成果確認テストを行い、合格者した者を資格更新した。

講習期間は令和6年10月1日～11月11日 受講者742名 修了者742名

(3) 地すべり防止工事士マイスター制度

経験豊富な地すべり防止工事士（65歳以上で更新6回目）に対し後進の育成等での活躍を期し平成28年度に創設した地すべり防止工事士マイスター登録者総数は168名となった。

3. 企画総務関係

中長期的方針のもとに協会活動を推進するための具体的な施策した。

支部活動支援小委員会が編集小委員会と連携して支部と意見交換した。

4. 人材育成関係

(1) 令和6年度地すべり防止技術研修

地すべり防止技術研修は、（一財）全国建設研修センターとの共催で国土交通省等の後援を得て昭和54年から実施しているが、令和6年度は令和6年5月21日（火）から24日（月）の4日間で実施された。

受講生は40名であった。

(2) 新たな資格制度の創設

斜面防災工事に携わる技能者資格として新たに斜面防災主任技能者資格を創設し、令和7年度から資格試験を実施する準備を進めた。

5. 災害対応協力・支援

- (1) 令和 6 年能登半島地震で被災した斜面防災施設に対する緊急調査を実施し、協会誌に報告する報告書を取りまとめた。
- (2) 関東支部では、埼玉県との緊急時の協定に基づき県からの要請により 1 件の調査支援を行った。

6. 広報関係

- (1) ホームページの活用

機関誌「斜面防災技術」に掲載された技術情報を順次ホームページで公開した。国土交通省等からの通知等を会員専用ページに迅速に掲載し、会員への情報提供に努めた。

ホームページをより使いやすいものにするため、ホームページ委員会の指導のもと改良に努めた。

7. 技術活用関係

- (1) 第 26 回斜面防災対策技術フォーラム in 唐津の開催

フォーラム委員会の指導のもと令和 6 年 10 月 31 日（木）に唐津シーサイドホテルにおいて第 26 回斜面防災対策技術フォーラム in 唐津を開催した。

特別講演 末次大輔氏 宮崎大学教授

演 題 「九州地方における近年の地盤災害の特徴と課題」

特別講演 宮島清一氏 宮島醤油(株)代表取締役会長/宮島商事(株)代表取締役社長/唐津商工会議所会頭

演 題 「幕末・明治の唐津と高橋是清」

技術発表 30 編

参加者 214 名

技術発表の最優秀発表者として十川翔太氏（日本工営(株)）・小笠原嘉宏氏（国土防災技術(株)）及び和田大祐氏（国土防災技術(株)）の 3 氏が、優秀発表者として大坂泉氏（(株)日さく）、高口拓也氏（日本工営(株)）、山見高司氏（(株)アールデ）、鈴木朝陽氏（明治コンサルタント(株)）、福場俊和氏（国際航業(株)）、加藤寛己氏（(株)日本地下技術）の 6 氏が表彰された。

技術フォーラム翌日の現地研修会は、唐津・武雄コースと佐世保コースの 2 コースに 45 名（うちスタッフ 8 名）が参加した。地すべり学会九州支部から 4 名の学生も参加した。

- (2) 積算・歩掛の改善

積算・歩掛小委員会において、会員向けアンケートを 9 月 18 日から 1 か月間実

施し、9 支部 61 社から回答を得た。斜面防災対策事業に関して、事業の発注機関による積算・歩掛（調査業務、設計業務、工事）に関する取り組みについての改善が望まれる事項をとりまとめた。協会として発注機関への要望活動の基礎資料とする。また、平成 28 年度刊行した斜面防災工維持管理実施要領に不足していた歩掛資料（斜面防災工維持管理実施要領 別冊）をとりまとめ印刷原稿案を作成した。

(3) 地すべり防止施設におけるライフサイクルコスト削減に関する研究支援

国土交通省砂防部主催で令和 3 年度から活動していた「地すべり防止施設におけるライフサイクルコスト削減に関する研究会」に協会として参画し、全国の地すべり防止施設の老朽化対策のデータの収集・整理、対策案のとりまとめを支援し、報告書をホームページに紹介した。

(4) 技術書の出版

斜面对防災関係技術図書の販売、普及に務め、令和 7 年 2 月に研修テキストを増刷するとともに登録地すべり防止工事一次試験問題解説集を出版した。

8. 編集関係

編集委員会を 2 か月に 1 回の頻度で開催し、機関誌「斜面防災技術」の第 150 号～第 152 号を発刊した。

本部編集委員と支部編集委員による合同編集会議を令和 6 年 4 月 12 日にオンラインでの参加も加えて開催し、支部関係の情報収集を密にできるよう意見交換を実施した。

座談会を富山支部と令和 6 年 5 月 21 日に富山市で、北海道建設部土木局河川砂防課と令和 6 年 8 月 27 日に札幌市で開催した。富山支部の座談会記録は機関誌第 151 号に、北海道の座談会記録は第 152 号及び第 153 号に掲載した。

9. 支部活動

13 支部において、斜面防災対策技術の向上及び斜面防災対策業の健全な発展を図るため以下の活動を実施した。

- ・各支部管内で登録地すべり防止工事試験の運営・開催、地すべり防止技術講習会の案内
- ・国、県等の要請に対応して斜面災害調査、応急工事への支援
- ・国、県等斜面对策事業者に対する広報・要望活動
- ・斜面防災対策技術者の技術向上のための講習会、研修会、見学会等の開催、協力支援等

10. 国土交通省砂防部との懇談

- ・国土交通省砂防部との懇談会を、令和 6 年 11 月 12 日に東京で開催した。

11. 全国事務局長会議

令和 7 月 1 月 30 日（木）にオンラインで全国事務局長会議を開催し、協会運営に関する諸事項の協議と各事務局間での意思疎通を図った。

12. 他団体等への協賛・助成・活動支援

以下の諸行事等に対して協賛・助成・活動支援した。

- ・土砂災害防止月間（6月1日～30日）
- ・砂防図書館の共同運営事業
- ・砂防ボランティア基金
- ・日本地すべり学会研究発表会
- ・砂防学会研究発表会
- ・地すべり防止工事士会

以 上

(報告事項)

第 2 号報告 令和 7 年度事業計画報告の件

令和 7 年度事業計画

一般社団法人斜面防災対策技術協会は、会員相互の協力によって斜面防災対策技術の向上及び斜面防災対策業の健全な発展を図り、もって斜面防災対策事業の普及と促進に協力し、国土の保全と民生の安定に寄与することを目的として、令和 7 年度は以下の計画に基づき活動を強力に推進する。特に、斜面防災工事に携わる技能者のスキルアップのため登録基幹技能者の育成に努める。

1. 総会、理事会及び要望活動関係

- (1) 第 47 回定時社員総会を令和 7 年 6 月 25 日（水）砂防会館別館にて開催する。
- (2) 理事会は年 4 回（令和 7 年 6 月 6 日（金）、6 月 25 日（水）、10 月 14 日（火）、令和 8 年 3 月下旬）に開催する。

(3) 重点活動の展開

- 1) 以下の協会の活動目的を達成するため、態勢の強化及び活性化を図る。

- ①個々の会員の技術力の向上による質の高い斜面防災対策施設の建設と地域の斜面防災に対する安全度の急速な向上を図ること。
- ②斜面防災対策工事、調査等が適正に評価され、斜面防災対策業全体として健全な発展が図られること。
- ③地すべり防止工事士の専門性に対する社会的信頼を積み重ね、もって強靱な社会資本整備へ貢献すること。
- ④斜面防災工事に携わる技能者の能力を適切に評価できる技能講習及び資格検定試験を実施する。

ア. 斜面防災主任技能者資格者を認定する。認定のための受験料、登録料では会員価格を設定する。

イ. 斜面防災工事に係る登録基幹技能者講習の実施機関として年内に講習会の開催を行う。

- ⑤本部委員会組織の強化を図る。
- ⑥協会が保有する斜面防災対策技術を普及するため、講習会、研修会、出版等の活動を推進する。
- ⑦迅速な災害対応のため、国、都道府県との災害協定の締結および大規模災害への関与に関して、支部・本部一体となって活動に取り組む。
- ⑧支部と整備局・都道府県との意見交換等に努める。

- 2) 当協会会員の活用、「地すべり防止工事士」、「斜面防災主任技能者」の活用を図るため、国土交通省等関係機関との意見交換、要望活動を積極的に行

う。

3) 会員個々へのサービス向上活動を推進する。

2. 登録地すべり工事試験及び地すべり防止工事士技術講習

登録地すべり防止工事試験及び技術講習会を以下のとおり実施する。

(1) 登録地すべり防止工事試験

①一次試験

令和7年6月21日（土）に全国13都市で開催する。

②二次試験

3会場に絞って実施する。

令和7年9月20日（土）神戸市、9月27日（土）東京都、

10月4日（土）福岡市

(2) 技術講習会

令和2年度登録者及び令和5年度及び令和6年度未受講者を対象として、全国で8月にオンデマンド方式で開催する。

※受講予定者数は818名

3. 斜面防災主任技能者試験

斜面防災主任技能者試験を以下のとおり実施する。

令和7年6月21日（土）に全国13都市で開催する。

受験料、登録料とも会員は一般価格の半額とする。

4. 斜面防災工事に係る新たな登録基幹技能者講習

国土交通省の斜面防災工事に係る登録基幹技能者講習実施機関の認定を受け、
年内に講習会の開催を行う。

5. 企画総務関係

(1) 中長期的方針のもとに協会活動を推進するための具体的な施策を検討する。

(2) 支部活動支援小委員会に、支部会員、支部賛助会員の制度化を検討する。

(3) 本部の収支改善を引き続き検討する。

(4) 法人化50周年記念事業について内容のフレームワークづくりを検討する。

6. 広報関係

- (1) 斜面防災対策事業の発展と普及啓蒙のため、協会誌「斜面防災技術」第 153～155 号を発刊する。会誌編集のため、本部と支部編集委員による合同編集会議を令和 7 年 4 月 11 日（金）に開催し、本部と支部の意思疎通を図る。座談会は 2 回開催する。
- (2) 協会ホームページの内容を充実させ、協会活動を広くアピールするための広報を強化すると共に、会員への有益なツールに発展させる。
- (3) 「斜面防災 News Letter」を継続的に発行して会員への情報提供を行う。
- (4) 支部活動を支援するため支部アンケート等を行う。
- (5) 「地すべり防止工事士」、「斜面防災主任技能者」等の広報資料を適宜作成し、関係機関に提供できるようにする。

7. 技術活用関係

- (1) 災害発生時、国、県の要請に対応して、迅速に斜面災害調査、応急工事を支援する。そのため、災害対応支援体制及び対応技術力の向上等に努める。
- (2) 斜面防災対策技術の進歩改善に関する調査及び研究を推進する。
- (3) 斜面防災に関する適切な積算体系の検討や資料収集・整理に関する事項を確立させる。特に、「斜面对策工維持管理実施要領」積算歩掛編別冊資料を発行する。
- (4) 改定地すべり鋼管杭設計要領のさらなる改訂にむけて検討を行う。また新たに DX 事例集の作成のための準備を行う。
- (5) 地すべり防止工事士の活用状況を協会内で調査し、活用に向けて要望活動の資料を作成する。
- (6) 国土交通省砂防部が主催する急傾斜地崩壊防止施設のライフサイクルコスト縮減等に関する研究会へ参画し、とりまとめを支援する。
- (7) C P D（継続教育）制度を充実させる。

8. 人材育成関係

- (1) 登録斜面防災基幹技能者講習会を開催する。
- (2) 斜面防災対策技術向上のための講習会、研修会等を実施する。
- (3) 会員企業の若手技術者教育のための研修会等を実施する。
- (4) 第 27 回「斜面防災対策技術フォーラム'25」を、富山支部の協力のもと富山県

富山市で令和7年10月9日に開催し、翌10日に現地研修会を実施する。

- (5) 令和7年度地すべり防止技術研修を、(一財)全国建設研修センターと共催、国土交通省等の後援を得て、令和7年5月19日(月)から23日(金)までの間に小平市の全国建設研修センターで実施する。

9. 各支部の活動

13支部において、斜面防災対策技術の向上及び斜面防災対策業の健全な発展を図るため以下の活動を実施する。

- (1) 全支部において、本部又は他支部と連動した会員確保活動、講習会・研修会の開催、その他諸活動を実施し、支部の活性化ならびに支部運営の健全化を図る。また、会員への有益な情報提供活動を充実させる。
- (2) 国、県の要請に対応して斜面災害調査、応急工事を支援する。
- (3) (公社)日本地すべり学会等、関係団体との連携又は活動支援を行う。
- (4) 発注者に対して、積極的な要望活動を行う。

10. 国土交通省等との懇談

国土交通省砂防部との懇談会を10月14日(火)に開催する。

支部と地方整備局及び都道府県との意見交換会の拡充を検討する。

11. 全国事務局長会議

令和7年度の全国事務局長会議を開催し、事務局相互の意思疎通を図る。

12. 協会・他団体等への協賛・助成

以下の諸行事等に対して協賛・助成する。

- (1) 土砂災害防止月間
- (2) (公社)日本地すべり学会シンポジウム
- (3) (公社)砂防学会シンポジウム
- (4) 国際シンポジウム INTERPRAEVENT 2026 in Sapporo Hokkaido
- (5) 雪崩防災シンポジウム
- (6) 砂防図書館の共同運営事業
- (7) 砂防ボランティア基金 等

以上

(報告事項)

第 3 号報告 令和 7 年度収支予算報告の件

令和7年度収支予算

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	本 部		支 部		全 体	
	令和7年度予算	令和6年度予算	令和7年度予算	令和6年度予算	令和7年度予算	令和6年度予算
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 入会金収益	(300,000)	(400,000)	(30,000)	(0)	(330,000)	(400,000)
② 会費収益	(32,930,000)	(32,410,000)	(36,970,000)	(37,350,000)	(69,900,000)	(69,760,000)
正会員会費	30,380,000	29,860,000			30,380,000	29,860,000
支部会費			36,965,000	37,350,000	36,965,000	37,350,000
賛助会員会費	2,550,000	2,550,000	5,000		2,555,000	2,550,000
③ 事業収益	(30,964,910)	(24,538,000)	(4,711,660)	(5,311,600)	(35,676,570)	(29,849,600)
印刷物頒布収益	3,086,310	3,450,000		0	3,086,310	3,450,000
試験等事業収益	25,678,600	18,380,000	401,660	401,600	26,080,260	18,781,600
技術フォーラム参加収益	1,900,000	2,408,000		500,000		2,908,000
技術研修会収益			110,000	210,000	110,000	210,000
業務受託収益	300,000	300,000	4,200,000	4,200,000	4,500,000	4,500,000
④ 雑収益	(707,876)	(640,000)	(3,461,734)	(3,558,625)	(4,169,610)	(4,198,625)
受取利息	7,876	0	2,796			
支部活動費(本部から)			1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
その他収益	700,000	640,000	1,958,938	2,058,625	2,658,938	2,698,625
事業活動収入計	64,902,786	57,988,000	45,173,394	46,220,225	110,076,180	104,208,225
(1) 経常費用						
① 事業費	(47,446,340)	(46,661,000)	(15,288,780)	(17,372,109)	(62,735,120)	(64,033,109)
期首商品棚卸高	5,387,706	5,955,194			5,387,706	5,955,194
期末商品棚卸高	△ 4,020,568	△ 5,395,194			△ 4,020,568	△ 5,395,194
技術開発研究費	102,640	211,000	8,877,000	8,437,000	8,979,640	8,648,000
試験等事業費	18,362,868	15,290,000	411,600	1,410,529	18,774,468	16,700,529
人材育成事業費	9,259,176	11,366,000	330,000	2,779,400	9,589,176	14,145,400
出版事業費	10,959,699	10,730,000	895,000	562,000	11,854,699	11,292,000
広報活動費	117,000	1,080,000	562,000	2,384,180	679,000	3,464,180
賃借料	3,037,819	3,038,000	2,384,180		5,421,999	3,038,000
その他の活動費			210,000	210,000	210,000	210,000
支部活動費				0	0	0
広告宣伝費	55,000	476,000	380,000	380,000	435,000	856,000
協賛金	1,410,000	1,060,000	539,000	509,000	1,949,000	1,569,000
助成金	2,775,000	2,850,000	700,000	700,000	3,475,000	3,550,000
② 管理費	(17,064,953)	(18,720,500)	(31,361,720)	(32,072,000)	(48,426,673)	(50,792,500)
職員給与	4,829,869	4,505,000	7,540,000	7,540,000	12,369,869	12,045,000
臨時雇用賃金					0	0
役員退任慰労金			320,000	370,000	320,000	370,000
退職給付費用					0	0
福利厚生費	944,668	903,000	1,150,000	1,120,000	2,094,668	2,023,000
委託費	1,282,000	1,187,000	5,160,000	5,060,000	6,442,000	6,247,000
会議費	2,228,532	2,580,000	5,327,000	6,287,000	7,555,532	8,867,000
旅費交通費	840,000	900,000	3,472,720	3,380,000	4,312,720	4,280,000
通信運搬費	305,612	200,000	1,370,000	1,365,000	1,675,612	1,565,000
消耗品費	260,000	316,000	535,000	530,000	795,000	846,000
消耗什器備品費			56,000	56,000	56,000	56,000
保守費(IT関連)	484,000	484,000			484,000	484,000
印刷製本費	560,000	450,000	520,000	520,000	1,080,000	970,000
水道光熱費	118,117	175,000			118,117	175,000
諸謝金	35,000	100,000	1,130,000	1,130,000	1,165,000	1,230,000
賃借料	3,037,820	3,038,000	3,390,000	3,380,000	6,427,820	6,418,000
租税公課	1,728,400	2,021,000	91,000	91,000	1,819,400	2,112,000
諸会費	90,500	90,500	260,000	260,000	350,500	350,500
渉外慶弔費	100,000	0	110,000	80,000	210,000	80,000
雑費	220,435	1,771,000	930,000	903,000	1,150,435	2,674,000
経常費用計	64,511,293	65,381,500	46,650,500	49,444,109	111,161,793	114,825,609
当期経常増減額	391,493	△ 7,393,500	△ 1,477,106	△ 3,223,884	△ 1,085,613	△ 10,617,384
2 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計					0	0
(2) 経常外費用						
前期損益修正損						0
電話加入権評価損						0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	391,493	△ 7,393,500	△ 1,477,106	△ 3,223,884	△ 1,085,613	△ 10,617,384
一般正味財産期首残高	5,119,831	15,929,016	49,348,818	55,010,619	54,468,649	70,939,635
一般正味財産期末残高	5,511,324	8,535,516	47,871,712	51,786,735	53,383,036	60,322,251
II 正味財産期末残高	5,511,324	8,535,516	47,871,712	51,786,735	53,383,036	60,322,251

注：令和7年度に、本部会計内に災害調査積立金及び法人化50周年記念事業積立金を創設する。

一般社団法人 斜面防災対策技術協会
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 北海道支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 東北支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 関東支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 新潟支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 富山支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 石川支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 長野支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 静岡支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 東海支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 関西支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 中国支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 四国支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 九州支部